

# 秋恒例の「文学碑公苑 講演会」と「墓前祭」のご案内

第 19 回 文学碑公苑 講演会

## 「作家と暮せば」

ゲスト＝井上ユリ（故 井上ひさし夫人・料理教師）

聴き手＝出久根達郎（作家・文藝家協会理事長）

▼日時＝9月12日（木）

▼集合＝午前8時半

J R 中央・総武線「千駄ヶ谷」駅 改札口前

貸切バスで富士霊園まで直行。文学碑公苑「文學者之墓」を散策のあと、富士見会館内での講演会に参加。その後、近隣の文化施設等をめぐりバスで帰京（午後6時頃予定）。

▼会費＝1人5,000円（バス代、昼食代込み。講師との記念写真と協会編纂の新刊1冊プレゼント付き）

▼お申込み＝文藝家協会協会 HP <http://www.bungeika.or.jp/event.htm> から。

または事務局 TEL 03-3265-9657 FAX 03-5213-5672 まで。

◎定員 50 名になり次第しめ切り

作家井上ひさしさんが亡くなって今年で 10 年目です。ご存じのように、テレビ人形劇『ひょっこりひょうたん島』を手がけた後、『道元の冒険』（岸田戯曲賞、芸術選奨新人賞）、『手鎖心中』（直木賞）、『吉里吉里人』（読売文学賞、日本 SF 大賞）、『腹鼓記』、『不忠臣蔵』（吉川英治文学賞）、『シャンハイムーン』（谷崎潤一郎賞）、『東京セブンローズ』（菊池寛賞）、『太鼓たたいて笛ふいて』（毎日芸術賞、鶴屋南北戯曲賞）など戯曲、小説、エッセイに幅広く活躍。また、劇団こまつ座を立上げ、座付き作者として『きらめく星座』、『父と暮せば』などの名作を私たちに届けてくれました。直木賞はじめいくつもの文学賞の選考委員を引き受ける一方、憲法や農業など直面する社会問題への貴重な提言や行動を続けました……そんな井上さんをいちばん間近で見てこられたユリ夫人に、井上作品の創作の秘密、意外な日常とこだわりなど、23 年間のとっておきのエピソードをお話いただく予定です。聴き手は、出久根達郎さん。



井上ユリさん

（写真提供 文藝春秋）



近刊『井上ひさし ベスト・エッセイ』井上ひさし  
井上ユリ 編／ちくま文庫

1953 年生まれ。料理教師。1987 年、井上ひさしと結婚。著書に『今日からわたしは一流シェフ』全 4 巻（米原ゆり名義）、『姉・米原万里』など。